

平成29年度行政評価シート【個表】

平成 29 年 6 月 22 日

評価対象事業		評価者	交通計画課担当課長 野中 宗範、若林 篤	
まち-06	重点事業	交通体系整備事業	自治事務	主管課 交通計画課
	まち・ひと・しごと		法定受託事務	関連課
総合計画上の位置付け	分野	総合交通	施策の方針	道路・交通体系の検討

1 事業の目的

対象	市民等
意図	安全で快適なまちをめざした交通環境をつくりだすため。
効果	公共交通機関における利便性の向上を図るとともに、慢性化する交通渋滞の解消や交通事故の減少を図る。

2 平成28年度に実施した事業の概要

- 鎌倉市交通計画検討委員会(市民、交通事業者等で構成)の運営及び鎌倉地域の地区交通計画を策定するための資料等の作成を行った。 - 鎌倉市交通計画検討委員会特別委員会(国の行政機関等で構成)の運営及び自動車利用の抑制策に関するシステム設計や法的な条件整理、補助制度の活用等に関する調整資料の作成を行った。 - 大仏前の県道における渋滞発生要因の一つである観光バス乗降時の駐停車対策として、民有地を賃借し、駐車場を整備する予定だったが、地権者との交渉が不調におわったことから実施することができなかった。 - 鎌倉駅東口駅前広場の舗装改修にあたり、利便性向上に向け、歩行者等の交通量調査及び検討業務を委託した。
--

3 事業費等基礎データ

データ 人口等 の	データ区分	27年度決算	28年度決算	データ区分	29年度当初予算	備 考
	人 口	177,243人	176,869人	人 口	176,466人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	世 帯 数	80,676世帯	80,928世帯	世 帯 数	81,150世帯	
	事業の対象者数			事業の対象者数		
運営 資源 状 況	決算値(千円)	11,712	31,303	当初予算(千円)	30,495	平成29年度予算 から鎌倉駅東口駅 前広場整備事業 を別事業とした。
	国県支出金			国県支出金		
	地方債			地方債		
	その他			その他		
	一般財源	11,712	31,303	一般財源	30,495	
	人員配置数	2.4	2.4	人員配置数	1.4	
	人 件 費(千円)	18,452	18,779	人 件 費(千円)	10,969	
事業 経費 運営	総事業費(千円)	30,164	50,082	総事業費(千円)	41,464	
	市民1人当りの 経費(円)	170	283	市民1人当りの 経費(円)	235	
	対象者1人当り の経費(円)			対象者1人当り の経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない	
	関連・類似事業との統合はできないか	2. 統合に向けた検討は可能	
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある	
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある	
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である	
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している	
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入	△-1. 今は受益者負担を求めているが、今後、負担の導入を検討する必要がある
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済	○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している
		協働実施済の場合のパートナー	市民、商工業者、交通事業者、関係行政機関等
事業内容の方向性	☒ a: 事業内容を見直す ☐ b: 事業内容は現状通りとする ☐ c: 事業を休止又は廃止する ☐ d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ その他	見直しの内容 平成29年度予算から鎌倉駅東口駅前広場整備事業を別事業とした。
			事業へ統合
予算規模の方向性	☒ A: 予算規模を拡大する ☐ B: 予算規模は現状維持とする ☐ C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	・平成29年度は、平成28年度に実施した交通量調査、アンケート調査等の結果を踏まえたシミュレーションを行い、社会実験の実施に向けた検討を進めていく必要があるため、予算規模を拡大する。 ・財源は、社会実験制度等、国・県の補助制度の活用を検討を行っていく。
	総評(評価に対する考え方、根拠等) ・鎌倉地域の交通渋滞解消に向けた自動車交通の抑制策等の検討については、平成8年に20の施策を位置付け事業推進を図り、一定の成果は出ている。しかし、おおむね20年が経過する中で、市内道路の混雑状況は大きく変わることはなく、その解消に向けた抜本的な対策を求める市民のニーズが高いことから、事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい。 ・鎌倉市交通計画検討委員会や専門部会において、市民、商工業者、交通事業者等とともに、施策の検討や社会実験を実施するなど、市民と協働し事業展開を図っている。 ・自動車交通抑制策の一つである(仮称)鎌倉ロードプライシングについては、鎌倉市交通計画検討委員会特別委員会において、法的な課題や課金方法等について検討を行い、平成31年度の社会実験の実施を目指していく。 ・鎌倉駅東口駅前広場の改修に向け、歩行者等の交通量調査及び交通事業者等との協議を行い、基本設計を行った。平成32年度の供用開始を目指し、実施設計及び工事を着実に進めていく。		

平成28年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	・鎌倉地域の地区交通計画策定に向けた中間とりまとめにおける20の施策について、引き続き検討を行うとともに、(仮称)鎌倉ロードプライシングの実施に向けた法制度や課金の技術的方法、事業費の確保、実施主体等の課題について検討する必要がある。		
課題解決のために行った平成28年度の取組	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="322 212 1305 486"> ・「鎌倉市交通計画検討委員会」を2回、同委員会専門部会を4回開催し、鎌倉地域の生活道路における安全・安心な歩行者優先の道路空間を確保するため、自動車の速度を抑制する道路(歩行者尊重道路)について検討を行った。 ・「鎌倉市交通計画検討委員会・特別委員会」を1回、「鎌倉市交通計画検討委員会・特別委員会幹事会」を2回開催し、(仮称)鎌倉ロードプライシングの法的な課題や課金方法等を整理・検討した。 ・(仮称)市営長谷駐車場整備工事については、土地所有者との契約がまとまらなかったため、最終的に整備を断念し、新たな候補地の情報収集を行った。 ・鎌倉駅東口駅前広場の改修のため、歩行者等の交通量調査及び交通事業者等との協議を踏まえ、基本設計を行った。 </td><td data-bbox="1305 212 1479 486"> ☐ 解決 ☐ 一部解決 ☒ 未解決 </td></tr> </table>	・「鎌倉市交通計画検討委員会」を2回、同委員会専門部会を4回開催し、鎌倉地域の生活道路における安全・安心な歩行者優先の道路空間を確保するため、自動車の速度を抑制する道路(歩行者尊重道路)について検討を行った。 ・「鎌倉市交通計画検討委員会・特別委員会」を1回、「鎌倉市交通計画検討委員会・特別委員会幹事会」を2回開催し、(仮称)鎌倉ロードプライシングの法的な課題や課金方法等を整理・検討した。 ・(仮称)市営長谷駐車場整備工事については、土地所有者との契約がまとまらなかったため、最終的に整備を断念し、新たな候補地の情報収集を行った。 ・鎌倉駅東口駅前広場の改修のため、歩行者等の交通量調査及び交通事業者等との協議を踏まえ、基本設計を行った。	☐ 解決 ☐ 一部解決 ☒ 未解決
・「鎌倉市交通計画検討委員会」を2回、同委員会専門部会を4回開催し、鎌倉地域の生活道路における安全・安心な歩行者優先の道路空間を確保するため、自動車の速度を抑制する道路(歩行者尊重道路)について検討を行った。 ・「鎌倉市交通計画検討委員会・特別委員会」を1回、「鎌倉市交通計画検討委員会・特別委員会幹事会」を2回開催し、(仮称)鎌倉ロードプライシングの法的な課題や課金方法等を整理・検討した。 ・(仮称)市営長谷駐車場整備工事については、土地所有者との契約がまとまらなかったため、最終的に整備を断念し、新たな候補地の情報収集を行った。 ・鎌倉駅東口駅前広場の改修のため、歩行者等の交通量調査及び交通事業者等との協議を踏まえ、基本設計を行った。	☐ 解決 ☐ 一部解決 ☒ 未解決		
未解決の課題、新たな課題とその理由	・鎌倉地域の地区交通計画策定に向けた中間とりまとめにおける20の施策について検討を続け、実現に向けた取組を進める。 ・平成28年度に行った交通実態調査を基に交通シミュレーションを行うとともに、国・県等と連携を図りながら、(仮称)鎌倉ロードプライシングの実施に向けた法的な課題や課金方法、事業費の確保、実施主体等の課題について整理し、解決するための手法を模索し、平成31年度の社会実験を目指していく。 ・(仮称)鎌倉ロードプライシングの検討状況を見据えながら、交通マスタープランの改定に向けた取組を行っている。 ・鎌倉駅東口駅前広場の基本設計を踏まえ、工事に向けた実施設計を行っている。 ・市営長谷駐車場の整備について、新たな用地確保に向けた情報収集を行っている。		

比較事項									
団体名									
他市実績									

当該事業実施に伴う 他市比較に関する 考え方	
------------------------------	--

⑤ 事業実施に係る指標										
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由		年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31	
	目標値									
	実績値									
	達成率									

当該事業実施に伴う 指標の推移に関する 考え方	
--	--